

教科名	美術	週時間数	1.3	学年	1
使用教科書 及び 副教材等	美術1（光村図書） 美術資料（秀学社），レタリング字典（秀学社）				

指導の重点	「学ぶ意欲」「表現力」「思考力」		
教科のねらい	・楽しく美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を培い心豊かな生活を創造していく「主体的に学習に取り組む態度」を育てる。 ・感性や創造力を高め、「豊かに発想し構想する能力」や、対象を深く観察する力、基礎的技術を身に付け、創意工夫し美しく「表現する能力」を育てる。 ・鑑賞については、作者の心情や意図、「表現の工夫」を感じとる能力を養いたい。		
授業の進め方	授業は、作品の制作だけでなく、美術資料などで知識や技能を幅広く身に付けられるようにする。また、自己評価シート等を使って授業への取り組みを振り返り、次の制作に活かせるようにする。鑑賞では、教科書・美術資料・生徒作品等を鑑賞し、ワークシートを使って自分の感想・意見を述べられるようにしていく。		
定期考査	出題方針	一年間、授業中に学習、制作した内容を中心に出題する。	
	範囲 (予定)	1学期中間	
		1学期期末	1学期の学習内容からの出題、実技問題、鑑賞問題
		2学期中間	
		2学期期末	2学期の学習内容からの出題、実技問題、鑑賞問題
		学年末	一年間の学習内容からの出題、実技問題、鑑賞問題
学習方法 (アドバイス等)	授業に意欲的、積極的に取り組む。 ・チャイム着席、作業の準備、後かたづけがしっかりできるようにする。 ・提出物は期日を守って必ず提出する。 ・私語は慎み、根気よく制作に集中する。 ・各自の制作に必要な資料や材料を準備し、制作に生かすことができるようにする。		

評価	観点	評価基準	評価方法
	① 知識及び技能	・自然や身近なものを深く観察し、形や色彩の特徴や美しさをとらえて表現することができるか ・表現の基礎的技法を理解し、制作することができるか・自分の表現意図にあった材料・用具を生かして創意工夫し、制作することができるか ・日本及び諸外国の文化遺産や美術作品など、美しさや特色、相違点と共通点、歴史などを理解することができるか	・授業の様子 ・準備、後片付けの状況 ・作品、ワークシート等の内容や提出状況 ・テスト
	② 思考・判断・表現	・様々な角度から発想し、構想を練ることができるか ・制作過程において、修正、検討しながら、自分らしい表現を心がけることができるか・作品の良さや美しさを感じ、味わうことができるか ・作者の心情や意図、表現の工夫を感じ取ることができるか ・美術と社会や生活との関わりについて、気づくことができるか	・授業の様子 ・作品、ワークシート等の内容 ・テスト
	③ 主体的に学習に取り組む態度	・授業に関心を持ち、意欲的、積極的に表現や鑑賞の創造活動に取り組むことができるか ・資料や材料・用具の準備、後片付けができていいるか ・作品やワークシート等、提出期限を守って提出することができるか ・美術や文化についての知識、基礎的な技法について理解することができるか ・作品の意図を発表したり、他の生徒作品や発表に関心を持つことができるか	・授業の様子 ・作品の内容 ・授業の様子 ・ワークシートの内容 ・テスト

年 間 授 業 計 画 書

学期	月	単 元	学 習 内 容	時数	学習のポイント
1	4	美術の学習	・ 1 年間の授業内容、留意事項のオリエンテーション	1	・ 美術の楽しみ、授業の形態、留意事項を知り、意欲と展望を持つ ・ 素描の種類、描画材料、技法について知る ・ 対象をよく観察し、大まかな形をとらえる ・ 主な書体の特徴、用途について知る ・ レタリングの基礎的技法の習得 ・ トレースの技法の習得
	6	素描	・ 手の素描の基礎的技法 ・ 人物クロッキー	10	
	7	レタリング	・ 明朝体、ゴシック体の練習 ・ 自分の名前のレタリング	6	
	7	鑑賞	・ 教科書の作品から作品を指定し、感想をワークシートに記入	1	・ 作品の良さや美しさ、作者の心情や意図を感じ取る
2	9	色の要素	・ 色彩の基礎的知識 ・ 混色練習と彩色 ・ 自己評価カードの記入	3	・ 無彩色と有彩色・色の三要素 ・ 三原色・色相環・補色 ・ 明清色、暗清色、濁色・色立体 ・ 色の感情、配色の効果、色彩心理 ・ 色の名前（自然の色） ・ 混色や着彩の仕上がりなど、自己評価カードに記入し次の作業に生かせるようにする ・ 画面構成の基本、美の秩序や効果について理解する ・ 美の秩序、構成の知識をもとに、色の学習で着彩したパーツを使って画面を構成する ・ クラスメートの作品を鑑賞し、発想のよさや構成の美しさを感じ取り、自己評価カードに記入する ・ ピカソの心情、表現意図、表現の工夫を感じ取り、「ゲルニカ」のよさや美しさ进行味わう ・ ピカソの人間としての生き方や個性に関心を持ち、美術の社会への影響力を理解する ・ 立体的に対象を捉える ・ 形を立体的に表現する ・ 淡彩技法の習得
	10	美の構成要素	・ 美の秩序、構成の基本	1	
	11	色彩構成①	・ 「文字のデザイン」 ・ 色面構成 ・ 生徒作品の鑑賞及び作品評価カードの記入	10	
	11	鑑賞	・ パブロ・ピカソ 「ゲルニカ」を味わう	1	
	12	絵画制作	・ 体育館シューズ（水彩画）	10	
3	1 2 3	いろいろな表現技法	・ モダンテクニック	2	・ 偶然性の強い技法を知り、その効果を生かした表現を工夫し、創造的に表す ・ 意図に応じ、材料や用具を生かして表現する